

平成31・令和元年度 施設評価表

認定こども園般若野保育園

1.本園の理念、教育・保育目標

◎子ども1人1人を大切に、保護者から信頼され地域に愛される教育・保育をめざす
 ○未来を担う子どもたちの豊かな人間性を育てる
 ・心身ともに健康な子どもを育てる ・思いやりのある子どもを育てる
 ・自分で考え行動する子どもを育てる

2.本年度に取り組む重点事項

本年度から、3歳以上児・3歳未満児の2クラス編成となったことにより、
 ◎異年齢児合同の教育・保育について学ぶ
 ◎幼保連携型認定こども園教育・保育要領を理解し、指導計画を作成し教育・保育にあたる。

3.評価項目の達成及び取り組み内容と評価

評価項目	取組内容	取組状況	評価	来年度に向けての課題
教育・保育課程	教育・保育課程の編成・実施に関して職員間の共通理解をはかる。	職員会議等で教育・保育課程の確認をしている。	B	短時間勤務職員にも浸透させていく。
発達過程に応じた教育・保育	未満児クラス・以上児クラスの運営の成果と課題を報告する。	毎月、運営成果と課題を報告し合い、運営の改善を目指した。	B	教育・保育を見る力、自分の意見を伝える力を養成していく。
研修体制	教育・保育の質向上のために、園内研修を実施し、園外研修にも積極的に参加する。	現場の悩みを踏まえた内容を議題とし、毎月行った。また、園外研修にも参加し教育・保育の質を高める努力をした。	A	継続する。経験年数・役職に応じた研修を引き続き受講していく。
特別支援教育	特別支援教育の理解を深め、該当児に個別の配慮をしながら、発達の支援をする。連携機関との密な連携を図る。家庭との連携を図る。	連携機関の巡回や研修を園内で行い、該当児の発達を支援する対応を学んだ。該当児の対応については、連携機関・家庭・園との協働により個別の配慮ができるようにした。	A	継続する。
小学校接続	小学校へのスムーズな接続が図れるような工夫や取り組みを積極的に行う。幼保小連携研修に参加する。	散歩・小学校行事を通しての交流及び職員間での情報交換・給食訪問等を実施した。	A	地区の学校・保育園での話し合いのもと、連携を深めていく。
健康・安全管理	職員の健康・安全管理の意識を強化する。災害発生時の安全確保のための通報・避難・保護の方法手段を共有し、訓練を行う。食育計画の作成と実践を行う。	職員間で連携しながら、早期対応を心がけた。感染症に関しては即情報を開示し、保護者に伝えた。食育計画の実践に滞りがみられている。	C	食育計画の見直しを図るとともに調理員の関わり方も見直す。
職員間の連携	担任外保育教諭間の連携、他種職員との連携を積極的に行う。	行事や日々の教育・保育を通して協働体制を取っている。職員会議等でも話し合いを通して意思疎通を図っている。	C	意思疎通が不十分なところが見られたので取り組み方の見直しを図る。
保護者との連携	個人懇談やクラス懇談等を通してコミュニケーションを図る。行事の際にはアンケートを実施し、意見や満足度を調査する。	個人懇談・クラス懇談等で悩みを聞き、共有しながら子どもの成長に繋がるよう努力をしている。	B	保護者によりわかりやすく伝わる関わり方を勉強していく。
地域との連携	地域にある老人ホームや障害者支援施設との交流を図る。未就園児対象のふれあいひろばを行う。HP・はがきなどを利用して、行事の案内など園の情報発信を行う。	年2回ずつそれぞれの施設と交流会を行い、親睦を深めている。園に遊びに来てもらい、担当職員と一緒に遊んだり、子育ての悩みを聞いたりしている。毎月HP更新を行い情報開示している。	A	継続する。

A:優れている

B:普通

C:やや努力が必要

D:努力が必要